

衆議院財務金融委員会ニュース

H27.4.24 第189回国会第9号

4月24日（金）、第9回の委員会が開かれました。

1 金融に関する件（破綻金融機関の処理のために講じた措置の内容等に関する報告（平成25年12月報告、平成26年6月報告及び12月報告）

- ・麻生金融担当大臣から説明を聴取しました。

2 財政及び金融に関する件

- ・麻生財務大臣兼金融担当大臣、小泉内閣府大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。（参考人）日本銀行総裁 黒田東彦君

（質疑者及び主な質疑内容）

藤丸 敏君（自民）

- ・戦後の我が国の経済を振り返り、大臣の感想を伺いたい。
- ・公的資金の回収状況について伺いたい。
- ・経済再生とその持続的な経済成長の実現のための国債発行及び為替安定のバランスについて伺いたい。

斉藤 鉄夫君（公明）

- ・デフレ脱却に向けた道筋に対する大臣の所感を伺いたい。また、確実にデフレ脱却を実行するための今後の方針についても伺いたい。
- ・財政再建に向けた構造改革に対する大臣の考えを伺いたい。
- ・税制改革により格差の固定化を防ぐことが大事だと思うが、大臣の見解を伺いたい。

大島 敦君（民主）

- ・投資をしてリスクを取るなど我が国の稼ぐ力をどうやって向上させることができるか、大臣の所見を伺いたい。
- ・規制緩和をしてビジネスが参入しやすくする土壌を作る必要があると思うがいかがか。
- ・コーポレートガバナンス・コード策定の経緯及び目的について伺いたい。また上場企業を対象に社外取締役を2人以上置くこととした場合に必要となる人員数はどのくらいになるのか。

鷲尾 英一郎君（民主）

- ・期待インフレ率2%が確立された場合には、現在行われている異次元の金融緩和は解消されるのか。
- ・異次元の金融緩和による副作用が少なければ、目標達成後も金融緩和を続けることもあり得ると思うが、日銀総裁の

認識を伺いたい。

- ・国際通貨基金（IMF）等の国際金融機関は、欧米が主導し過ぎているという現状に対して、我が国が改革に積極的に取り組んでいくという姿勢が極めて重要であると考えているが、大臣の所見を伺いたい。

伊東 信久君（維新）

- ・去る22日に無人小型航空機（ドローン）が総理大臣官邸に落下した事件について、今後の対応策を伺いたい。
- ・社会保障と税の一体改革によって社会保障費の増加に対応できている間に社会保障制度の抜本的改革を行う必要があるにもかかわらず、現在厚生労働委員会で審査されている国民健康保険法等改正案の内容が、負担の付け回しに終始し、医療費の抑制につながらないことについて、大臣の所見を伺いたい。
- ・今夏に策定されるとされる具体的な財政健全化計画において、債務残高対GDP比の低減が新たな指標として上がっているが、これまでのプライマリーバランス黒字化目標を優先して考えるべきと思うが、大臣の所見を伺いたい。

吉田 豊史君（維新）

- ・膨大なアジアのインフラ整備需要に対して、我が国が中心となって運営しているアジア開発銀行はどのような対応策をとっているのか。
- ・中国がアジアのインフラ整備需要を踏まえ、アジアインフラ投資銀行（AIIB）の設立を提唱していることについて政府の認識を伺いたい。また、政府はAIIBに融資先を審査する能力があると認識しているか伺いたい。
- ・我が国がAIIB設立交渉参加を見送った理由を伺いたい。

宮本岳志君（共産）

- ・年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）による年金積立金運用の基本ポートフォリオ変更は、デフレ脱却政策による金利上昇リスクに対応するために国内債券を減らしたものであるGPIF運用委員長の認識を政府は共有するか。
- ・GPIFが公表した「年金積立金管理運用独立行政法人の投資原則についてのご説明」には「株価対策や経済対策のために年金積立金を利用することは絶対にありません。」とあるが、ここでいう「株価対策」、「経済対策」とはどのような意味か。
- ・バーゼル銀行監督委員会で検討されている金利急上昇リスクに備える新たな枠組みの目的及び内容について伺いたい。